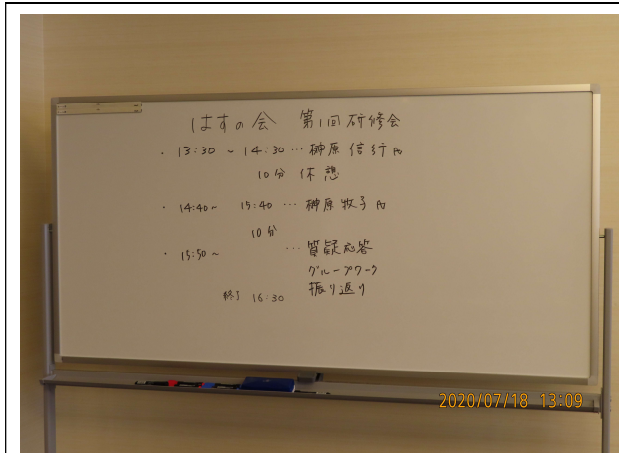


2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	はすの会 東大阪・神戸
活動テーマ	遺族会のファシリテーター養成の研修を行う



「病院や福祉施設で遺族会を企画したい、近くに遺族会が無いので開催したいがどうすればよいのか教えてほしい」という問い合わせが多く寄せられる。その要望に応え、はすの会の8年間の実績をもとに遺族会開催に必要な事務的なノウハウと、会を運営するファシリテーターの養成を目的に研修を企画した。

『遺族会の理論と実践』というテーマで、新型コロナウイルスの感染防止対策をしながら、ハートンホテル北梅田の貸会議室で行った。第1回目は「遺族会の運営について」・「グリーフケア提供者に必要なもの」について、第2回目は「遺族会におけるファシリテーターの感情の揺れ」・「ケアの体験からの自己再生」について、第3回目は「ファシリテーターの役割」についての講義をはすの会のスタッフが行った。上智大学グリーフケア研究所人材養成講座の受講生、修了生、グリーフケアの臨床の場で活動している者等が受講した。研修後に、はすの会の定例会にスタッフとして参加してもらった。

参加者からは、遺族会について現場の声を聞くことができ参考になったとの声が多く、同時にファシリテーターの役割の難しさを知り、自身の研鑽の必要性を感じたとの声もある。今回初めての試みとして、はすの会の定例会にスタッフとして参加してもらったが、実際の現場を知ることができ学びを体現できたと思うと共に、自身の課題を具体的に捉えられる機会ともなったとの受講生からの振り返りがあった。研修での学びを活動に活かされ、遺族会の普及に繋がることを願っている。